

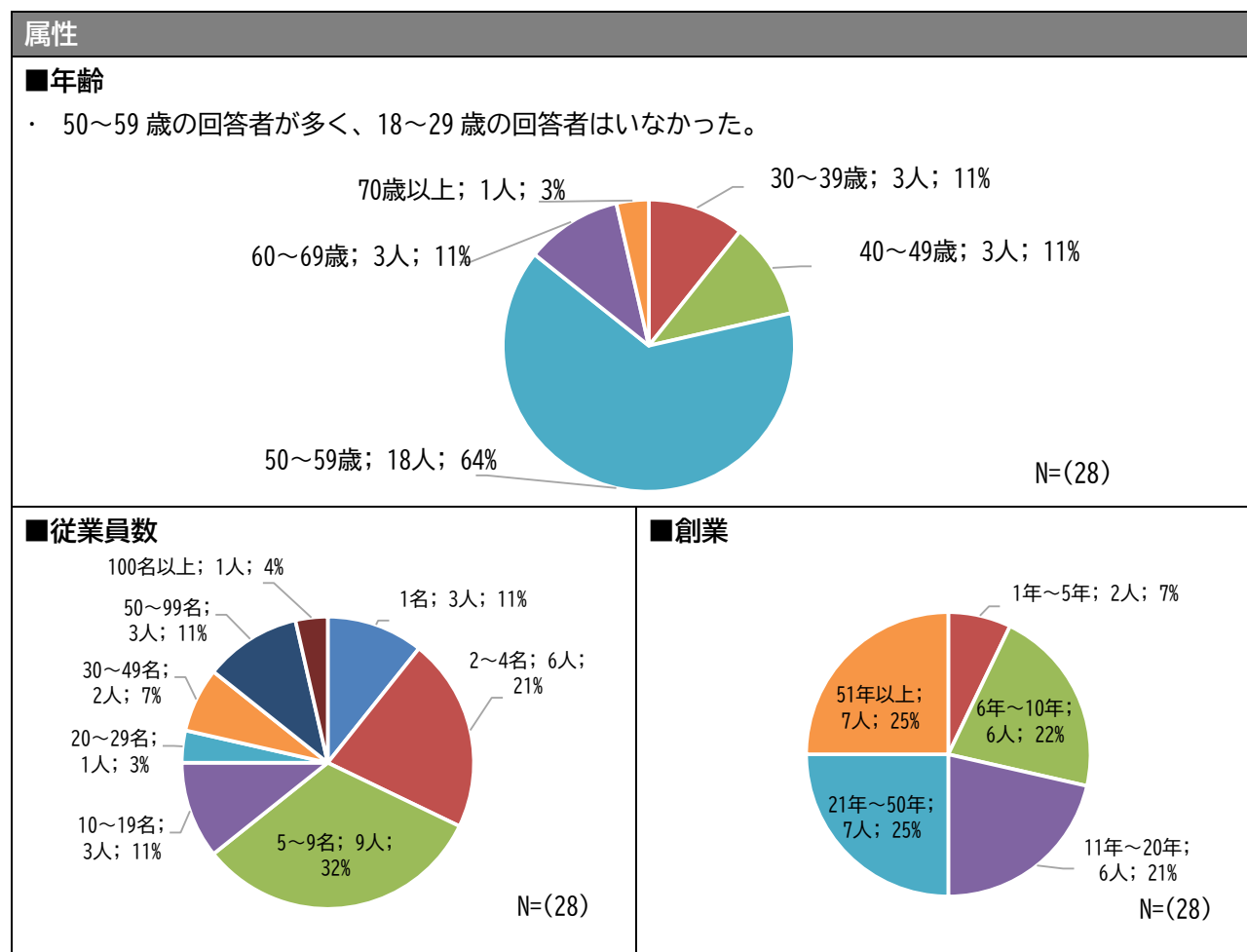
高松市 男女共同参画に関する事業所（女性経営者）実態調査 調査結果報告書

1. 調査概要

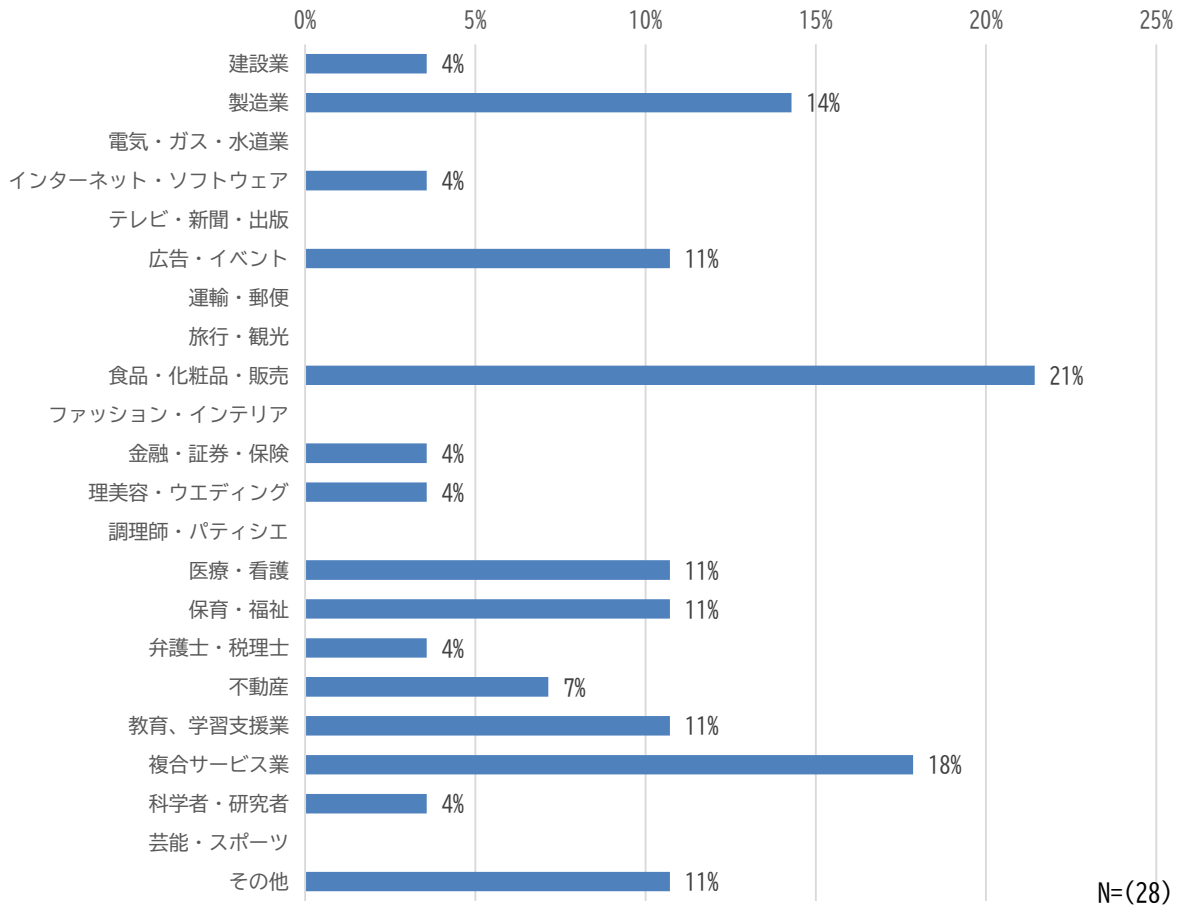
項 目	内 容
調 査 目 的	- 男女共同参画に関する事業所（女性経営者）の実態等を把握し、次期プラン策定の基礎データとすること。 - 今後の男女共同参画施策推進の参考資料とすること。
調 査 期 間	令和7年9月15日～令和7年10月31日
調 査 方 法	(一社)香川県中小企業家同友会を通じてweb アンケートを依頼し、web で回収
調 査 対 象	(一社)香川県中小企業家同友会に所属する女性会員 123 名
有 効 回 収 数	計 28 名 (回収率 22.8%)

2. 調査結果

- ※ 調査結果において、割合（構成比）を示しているものについては、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計値が 100.0 とならない場合がある。
- ※ その他等の自由記述については、回答者の意図を損なわない範囲で、誤字脱字、表記揺れ、明らかな変換ミス等を修正した。また、個人情報、誹謗中傷、公表に適さない表現等を含む記述については、一部削除又は掲載を省略した。内容が同一又は類似する回答については、必要に応じて整理・分類した。



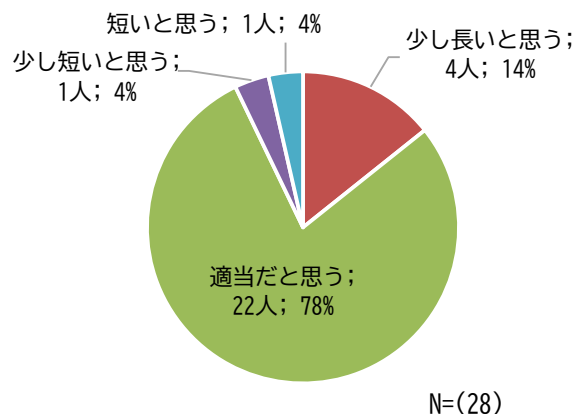
問2 貴事業所の業種を次の中から選んでください。副次的な業種がある場合には、その業種も御回答ください。（当てはまる番号すべてに○）



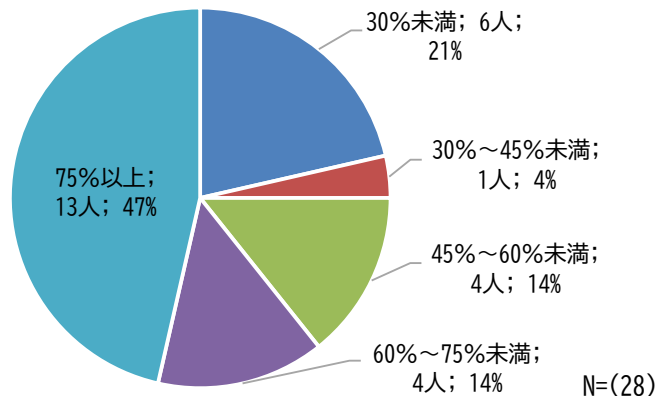
問5 貴事業所の平均的な1日の労働時間（残業を含む）は何時間ですか。

回答者平均 7.5 時間

問5-1 貴事業所の平均的な1日の労働時間（残業を含む）について、どのように思われますか。
（当てはまる番号1つに○）



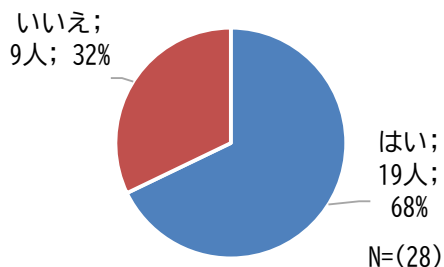
問6 貴事業所における従業員の平均有給休暇取得率についてお聞きます。
(当てはまる番号1つに○)



問7 貴事業所は、生成AI等デジタルテクノロジーを業務上、活用していますか。
(当てはまる番号1つに○)

※生成AIとは、入力した情報を基に、テキスト、画像、音声、動画等の新しいコンテンツを自動で生成するAI技術のことです。
代表的なものとしては、ChatGPTやGeminiなどが挙げられます。

- ・単純集計では、7割程度の人が、業務でデジタルテクノロジーを活用していると回答した。
- ・創業年数別による大きな差は見られなかった。



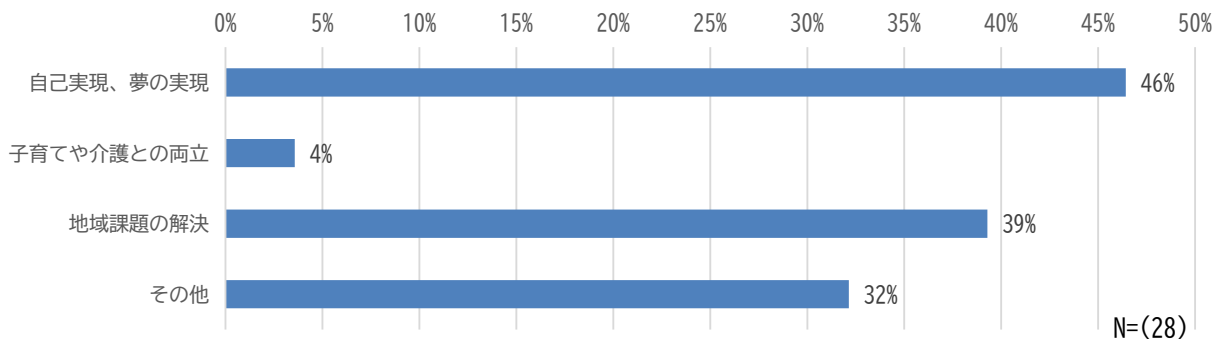
■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～ 5年 N=(2)	6年～ 10年 N=(6)	11年～ 20年 N=(6)	21年～ 50年 N=(7)	51年 以上 N=(7)
はい	19人	2人	3人	5人	5人	4人
いいえ	9人	0人	3人	1人	2人	3人

3 起業について

問8 起業のきっかけを教えてください。(当てはまる番号すべてに○)

- ・「自己実現、夢の実現」と回答した人の割合が最も高く、46%であった。次いで「地域課題の解決」が39%であった。その他では、事業継承と回答した人の割合が高かった。
- ・創業年数別による大きな差は見られなかった。



■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～5年 N=(2)	6年～10年 N=(6)	11年～20年 N=(6)	21年～50年 N=(7)	51年以上 N=(7)
自己実現、夢の実現	13人	1人	3人	5人	2人	2人
子育てや介護との両立	1人	0人	0人	1人	0人	0人
地域課題の解決	11人	2人	1人	3人	1人	4人
その他	9人	0人	2人	1人	4人	2人

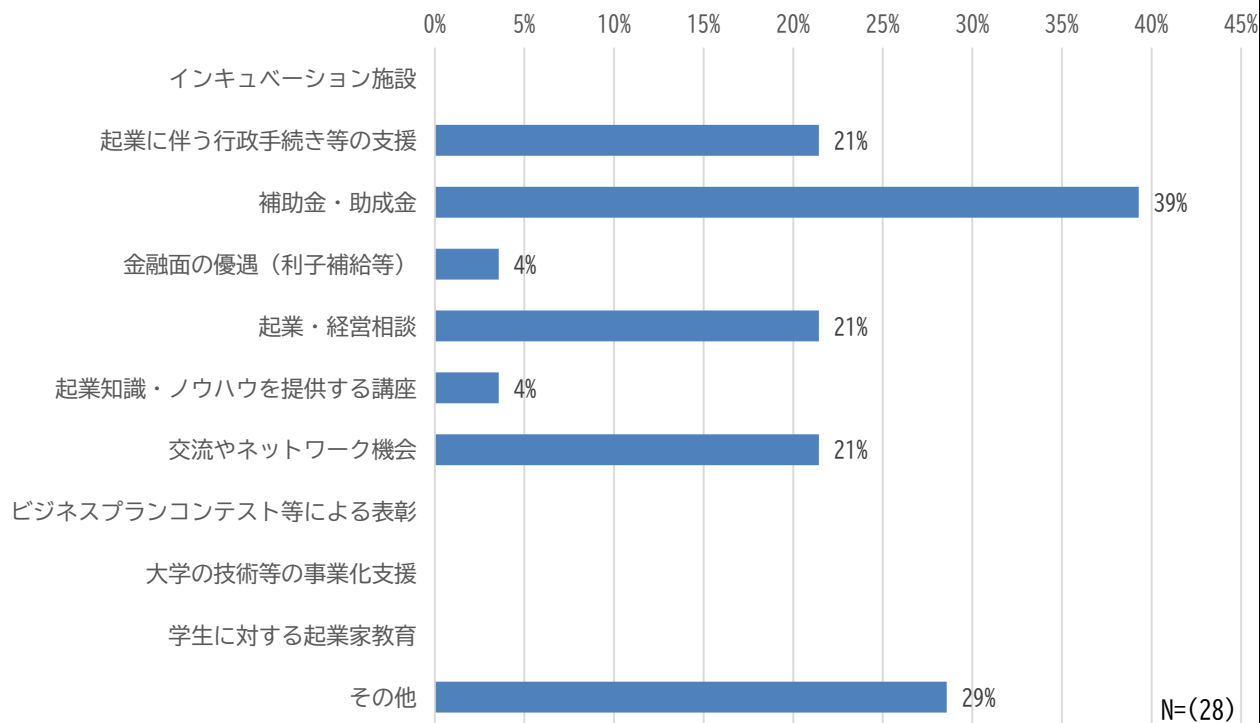
*選択率 ■：上位1位

■その他の回答

事業承継	7人
成り行き	1人
社会貢献	1人

問9 創業時の支援制度で利用したことのあるものはありますか。(当てはまる番号すべてに○)

- ・「補助金・助成金」と回答した人の割合が最も多く、39%であった。次いで「起業に伴う行政手続き等の支援」、「起業・経営相談」、「交流やネットワーク機会」が21%と高かった。
- ・「その他」と回答した人には、「なし」と回答した人もおり、支援制度を利用していない創業者も一定数いることが明らかになった。
- ・「その他」と回答した人に、「知らなかったので、利用できなかった」と回答している人もおり、周知方法の改善が必要な可能性がある。



■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～5年 N=(2)	6年～10年 N=(6)	11年～20年 N=(6)	21年～50年 N=(7)	51年以上 N=(7)
インキュベーション施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人
起業に伴う行政手続き等の支援	6人	1人	1人	2人	1人	1人
補助金・助成金	11人	1人	2人	1人	1人	6人
金融面の優遇（利子補給等）	1人	0人	1人	0人	0人	0人
起業・経営相談	6人	0人	3人	2人	0人	1人
起業知識・ノウハウを提供する講座	1人	0人	0人	1人	0人	0人
交流やネットワーク機会	6人	0人	0人	3人	1人	2人
ビジネスプランコンテスト等による表彰	0人	0人	0人	0人	0人	0人
大学の技術等の事業化支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人
学生に対する起業家教育	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他	8人	0人	2人	2人	4人	0人

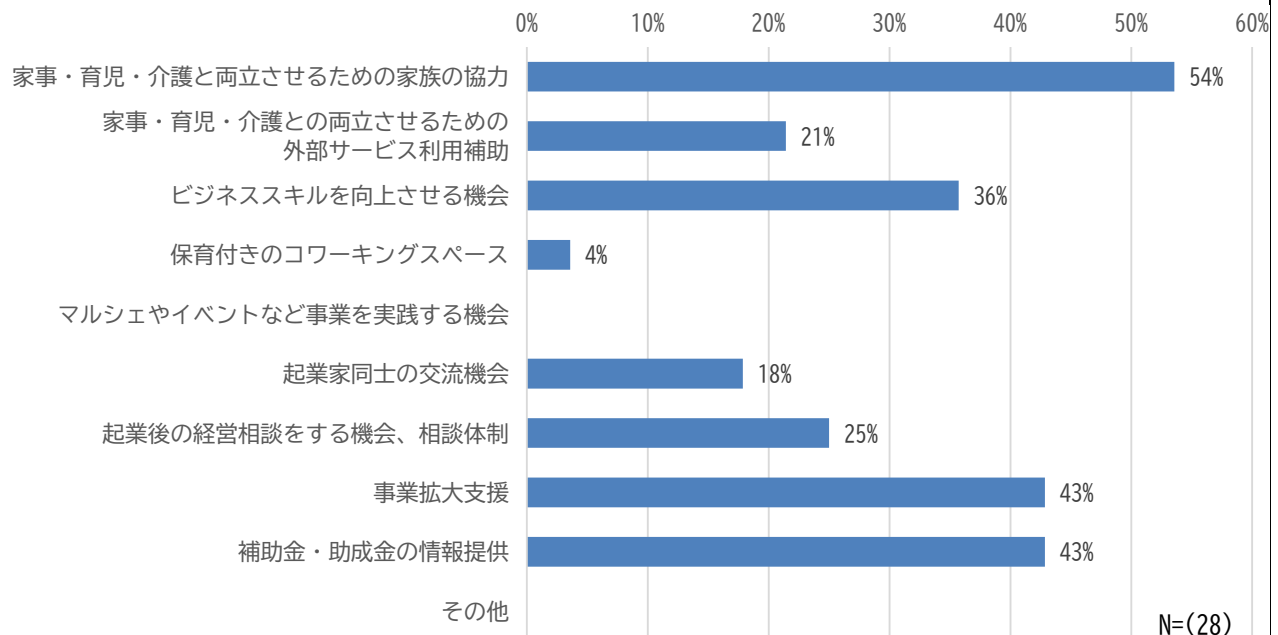
*選択率 ■：上位1位

■その他の回答

なし	6人
知らなかったので、利用できなかった	1人
創業者ではない	1人

問10 事業を継続する上で、必要な支援はありますか。（○は3つまで）

- ・「家事・育児・介護と両立させるための家族の協力」と回答した人の割合が最も高く、54%であった。
- ・次いで、「事業拡大支援」、「補助金・助成金の情報提供」、「ビジネススキルを向上させる機会」が高かった。



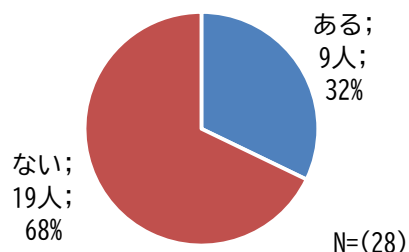
■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～5年 N=(2)	6年～10年 N=(6)	11年～20年 N=(6)	21年～50年 N=(7)	51年以上 N=(7)
家事・育児・介護と両立させるための家族の協力	15人	1人	2人	2人	6人	4人
家事・育児・介護と両立させるための外部サービス利用補助	6人	0人	4人	1人	1人	0人
ビジネススキルを向上させる機会	10人	1人	1人	2人	3人	3人
保育付きのコワーキングスペース	1人	0人	1人	0人	0人	0人
マルシェやイベントなど事業を実践する機会	0人	0人	0人	0人	0人	0人
起業家同士の交流機会	5人	0人	1人	2人	1人	1人
起業後の経営相談をする機会、相談体制	7人	1人	2人	0人	2人	2人
事業拡大支援	12人	1人	4人	2人	2人	3人
補助金・助成金の情報提供	12人	0人	3人	2人	3人	4人
その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人

*選択率 ■：上位1位

問 11 創業時にもっとこういう支援があった方が良かった、ということはありませんか。ある方は、具体的な内容も教えてください。(当てはまる番号1つに○)

- ・「ない」と回答した人の割合が7割程度となっているが、「ある」と回答した人も一定数いる。
- ・「ある」と回答した人が創業時にあった方が良い、具体的な支援内容を記載しており、今後の創業者支援の一案になると考えられる。



■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～5年 N=(2)	6年～10年 N=(6)	11年～20年 N=(6)	21年～50年 N=(7)	51年以上 N=(7)
ある	9人	2人	3人	4人	0人	0人
ない	19人	0人	3人	2人	7人	7人

■創業時にあった方が良い、具体的な内容

経営指針書の作成	1人
資金調達	1人
補助金やセミナー等の情報	1人
企業給付金や企業サポートの専門家との交流、夢ある方に未来を	1人
経営とは、経営者とは、相談できる機関、お金のやりくりなど	1人
財務諸表、決算書など数値的なセミナーは必須だと思います。	1人
わからないことでわからないとすぐに伝えることができ、答えを一緒に模索できる場所があればいいなと思った	1人
創業時に相談する場所がわからなかったので同友会に入会し先輩経営者さんにいろいろ教えて頂いた。また経営指針を創る会を受講し理念や行動指針、計画などを成文化したおかげで現在に至るので同友会のように経営者が長期的に学ぶ場、相談できる場所と協力すればいい。	1人

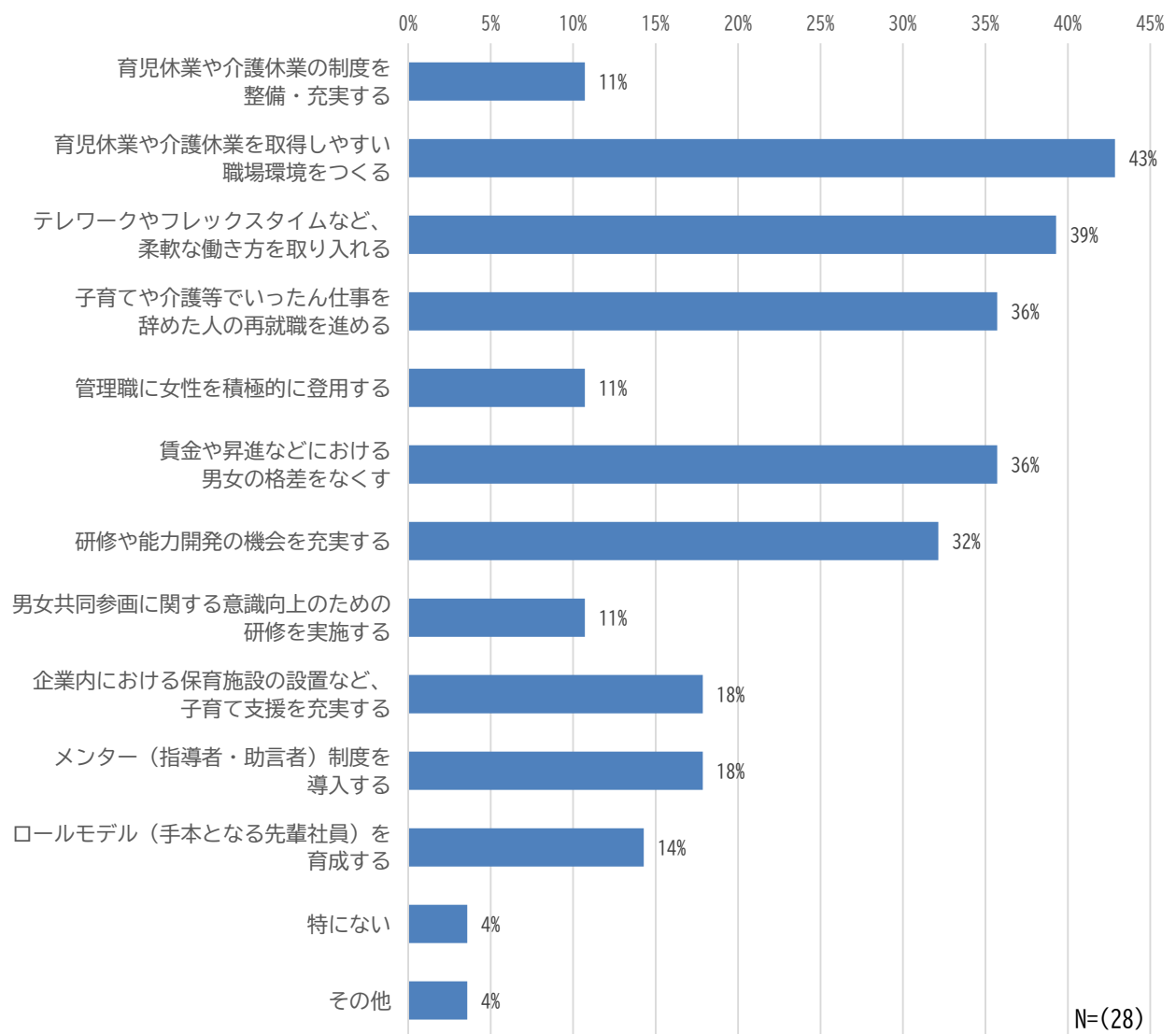
相談窓口はあったものの、子どもを預ける場がなく、子どもか仕事相談か？みたいな状況になりました。起業当初はお客様がいるわけでもないのに、キャッシュが潤沢になく...有料の保育園を探し、連れて行き、話を聞きに行くというのが、とても難しかったです。子どもを預かってもらいながら、起業する話が聞ける場があれば、また違った速度で物事は進んだ気がします。

1人

4 男女共同参画について

問 12 男女共同参画社会を実現するために、企業は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- ・「育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる」と回答した人の割合が最も高く、43%であった。次いで、「テレワークやフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れる」、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を進める」、「賃金や昇進などにおける男女の格差をなくす」が高かった。



■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～5年 N=(2)	6年～10年 N=(6)	11年～20年 N=(6)	21年～50年 N=(7)	51年以上 N=(7)
育児休業や介護休業の制度を整備・充実する	3人	0人	0人	0人	2人	1人
育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる	12人	0人	0人	4人	4人	4人
テレワークやフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れる	11人	1人	2人	6人	2人	0人
子育てや介護等で行った仕事を辞めた人の再就職を進める	10人	1人	0人	3人	2人	4人
管理職に女性を積極的に登用する	3人	0人	0人	0人	2人	1人
賃金や昇進などにおける男女の格差をなくす	10人	1人	3人	3人	1人	2人
研修や能力開発の機会を充実する	9人	0人	2人	2人	3人	2人
男女共同参画に関する意識向上のための研修を実施する	3人	0人	1人	0人	1人	1人
企業内における保育施設の設置など、子育て支援を充実する	5人	0人	3人	0人	2人	0人
メンター（指導者・助言者）制度を導入する	5人	0人	3人	0人	0人	2人
ロールモデル（手本となる先輩社員）を育成する	4人	2人	0人	0人	1人	1人
特になし	1人	0人	0人	0人	0人	1人
その他	1人	0人	1人	0人	0人	0人

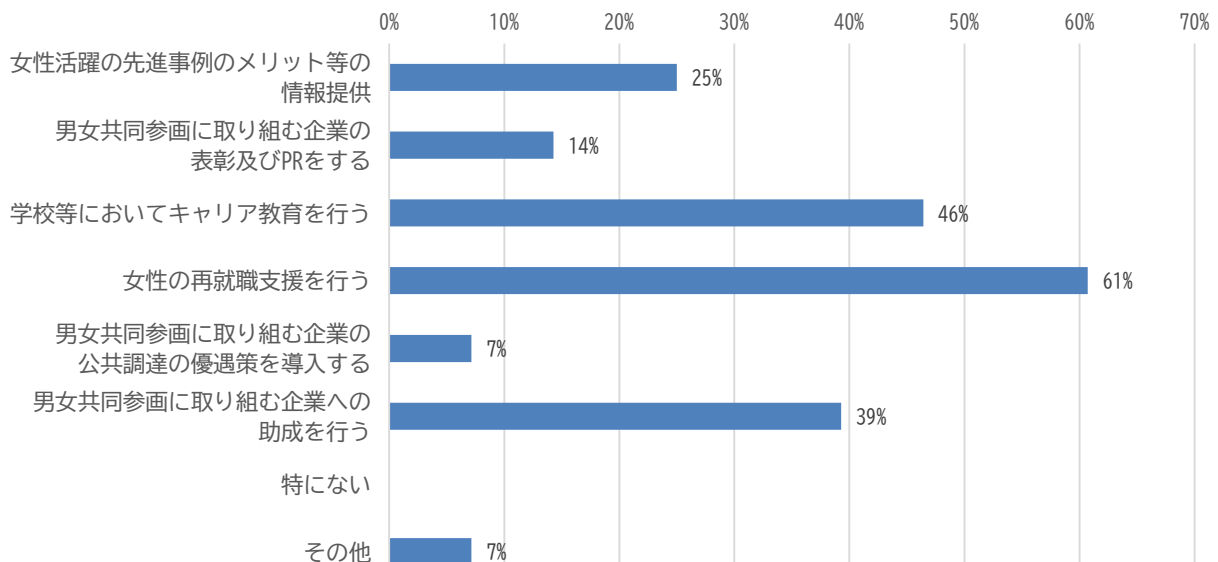
*選択率 ■：上位1位

■その他の回答

扶養範囲内パートの給与上限の拡大	1人
------------------	----

問 13 職場における男女共同参画を推進するために、高松市に希望する支援はどのようなものがありますか。（〇は3つまで）

- ・「女性の再就職支援を行う」と回答した人の割合が最も高く、61%であった。次いで、「学校等においてキャリア教育を行う」、「男女共同参画に取り組む企業への助成を行う」が高かった。



N=(28)

■クロス集計表

	総数 N=(28)	創業年数				
		1年～5年 N=(2)	6年～10年 N=(6)	11年～20年 N=(6)	21年～50年 N=(7)	51年以上 N=(7)
女性活躍の先進事例のメリット等の 情報提供	7人	0人	1人	0人	3人	3人
男女共同参画に取り組む企業の 表彰及びPRをする	4人	1人	0人	2人	0人	1人
学校等においてキャリア教育を行う	13人	0人	2人	3人	5人	3人
女性の再就職支援を行う	17人	1人	4人	2人	6人	4人
男女共同参画に取り組む企業の 公共調達への優遇策を導入する	2人	0人	0人	0人	2人	0人
男女共同参画に取り組む企業への 助成を行う	11人	2人	2人	2人	2人	3人
特になし	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他	2人	0人	0人	1人	1人	0人

*選択率 ■：上位1位

■その他の回答

男性が育児休業、介護休暇が取りやすくなる仕組みに対する支援	1人
経営者の意識改革	1人

問 14 男女の雇用、働きやすい社会づくりなどについて、御意見等がありましたら自由に御記入ください。

■回答一覧

そもそも、社会は男女平等ではない。いまだに。
官民が協力をして横のつながりを持ち、今後も女性起業家を応援していきたいので、意見交換会を行いたい。
建設業ではまだまだ女性が少ない傾向にあります。経営者が女性であるからこそ、実現できる部分があると思っています。女性でもモノづくりに関われることをもっと知ってほしいと思います。
事業において活躍している女性や女性活躍を推進している企業にもっとスポットを当てること。特に、活躍している女性を取り上げることによって、多くの女性の励みになるということを忘れてはならないと思います。
制度があっても、それを使いにくい雰囲気だと意味がないので、上司や経営者が率先してメッセージを発信することが大切。
男性だから女性だからという概念そのものが無くなる社会に早くなってほしい。